

Guide 3-24

図書を探すデータベース紹介（初心者向け）
[国内図書館編]

日本の図書館で所蔵している図書を探すためのデータベースを紹介します。一口に全国の図書館の図書を探すといってもまだまだ検索できないものも多く簡単ではありません。ここではまず北大にない場合どうやって探せばよいの？という初心者向けにメジャーなデータベースを紹介します。

もっと詳しく調べたい！という方はとりあえずリサーチナビ（国立国会図書館の調べ方案内サイト）の「調べ方案内」利用ガイドを参照するとよいでしょう！

[[「調べ方案内」利用ガイド（リサーチナビ）」](#)]

CiNii Books（国立情報学研究所）[Free]



【大学や研究機関の所蔵資料を探すにはまずこれ！】

[<https://ci.nii.ac.jp/books/>]

- 国内の大学や研究機関で所蔵している図書や雑誌をまとめて検索でき、所蔵機関も確認できる。
- 学術書の存在確認としても。
- 本の目次から検索も可能。「内容検索」タブから切り替えて検索します。また、採録されているデータは以下のとおりです。
 - ✓ BOOKデータベース 1986年以降（トーハン、日本出版販売、日外アソシエーツ、紀伊国屋書店）
 - ✓ Nielsen Book Data 1988年以降（Nielsen Book Data）

カーリル（株式会社カーリル）[Free]



【公共図書館の所蔵資料を探すにはまずこれ！】

[<https://calil.jp/>]

- 全国の図書館（公共図書館含む）の蔵書情報と貸し出し状況を簡単に検索できる。（ただし全ての図書館を網羅できている訳ではない）



【国立国会図書館や都道府県立図書館の所蔵資料を探すにはまずこれ！】

[<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>]

- 国立国会図書館をはじめ、国内の各機関から収集した、8000万件以上の文献情報等を検索できる。横断検索を含め、およそ100のデータベースと連携。
- 全国の都道府県立図書館・政令指定都市立中央図書館の所蔵する主に和図書を検索できる「総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）」も検索対象になっている。
- ただし、横断検索サイトはやむを得ないことであるが、各データベースの細かい条件設定までは引き継ぎきれないことも多い。よって、条件をより細かく設定し、検索するには個別のデータベースを利用する。以下代表的なデータベースを挙げる。
- 国立国会図書館蔵書検索・申込システム。図書、雑誌新聞、電子資料、和古書・漢籍、博士論文、地図、音楽録音・映像資料、蘆原コレクションの検索が可能。

●国立国会図書館デジタルコレクション [<http://dl.ndl.go.jp/>]

- 国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービス。
- 絶版などで現在手に入らない図書や古典籍など428万点(2024年6月現在)が検索可能。
- 「個人向けデジタル化資料送信サービス」を利用すると自身のパソコン等を用いて無償で印刷することができる。
[https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html]
- 「図書館送信資料」は附属図書館本館でも閲覧、複写（有料）できる（利用する場合は、カウンターに申し出てください。）。